

開催の詳細は内閣府 経済社会総合研究所ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.esri.go.jp/jp/prj-si2010/symposium20110223.html>

国際シンポジウム 「真に必要な医療・医薬品を享受するためにーサービス・イノベーションの挑戦ー」

開催案内	
日程	2011 年 2 月 23 日 (水) 10:00~17:00
場所	日本科学未来館 7 階 みらい CAN ホール
定員	250 名 (先着順)
参加費	無料 (事前登録制)
お申込みに関するお問い合わせ 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 担当 大谷・横内	
Tel : 03-3288-4126 Fax : 03-3288-4691	

プログラム

2011 年 2 月 23 日 (水) 10:00-17:00

時間	プログラム	講演者 (敬称略)
9:30	開場	
10:00-10:10	開会	内閣府 経済社会総合研究所
10:10-10:40	基調講演 「ライフ・イノベーションとわが国の課題」	井村 裕夫 財団法人先端医療振興財団 理事長
10:40-11:10	特別講演 “Innovative Paradigms for Drug Development: maximizing the role of industry, regulatory authorities and health technology assessment” 「医薬産業とイノベーション評価：産業界、規制当局、そして HTA の役割」	Lawrence Liberti 国際レギュラトリーサイエンス機構 理事長
11:10-11:40	特別講演 「米国 AHRQ の取組み」 (調整中)	Agency for Healthcare Research and Quality
11:40-11:50	質疑応答	
11:50-13:00	昼食休憩	
13:00-13:20	講演 I 「わが国における「技術革新」成長因子 “IND” の欠乏と病識：立法や行政に期待される役割とそのための条件」	黒川 達夫 千葉大学薬学研究院 客員教授
13:20-14:20	研究発表 「医薬品行政、制度、経済と「公的サービス」研究会における取組み」	川上 浩司 京都大学大学院医学研究科 教授
14:20-14:40	休憩	
14:40-15:00	講演 II 「社会イノベーションの成立条件：日本社会に課せられた課題」	末松 千尋 京都大学経営管理大学院 教授
15:00-16:50	パネルディスカッション 「真に必要な医療・医薬品を享受するために」 1. 指定発言：医薬品の技術革新と我が国の医療保険制度 吉田 易範 厚生労働省 保険局医療課 薬剤管理官 2. 指定発言：製薬企業の HTA への取組み 加藤 益弘 アストラゼネカ株式会社 代表取締役会長兼社長 3. 総合討論	司会： 川上 浩司 京都大学大学院医学研究科 教授 パネラー： Lawrence Liberti 国際レギュラトリーサイエンス機構 理事長 福原 俊一 京都大学大学院医学研究科 教授 黒川 達夫 千葉大学薬学研究院 客員教授 末松 千尋 京都大学経営管理大学院 教授 八山 幸司 内閣官房 医療イノベーション推進室 企画官 吉田 易範 厚生労働省 保険局医療課 薬剤管理官 加藤 益弘 アストラゼネカ株式会社 代表取締役会長兼社長 大西 昭郎 日本メドトロニック株式会社 取締役副社長
16:50-17:00	閉会	青山 伸 内閣府 経済社会総合研究所 総括政策研究官